

小樽商科大学附属図書館主催 市立小樽図書館後援
小樽商科大学グローバル戦略推進センター研究支援部門地域経済研究部協力

ゆめぽーとライブ 第25弾

生田美智子氏

大阪大学名誉教授・博士(言語文化学)
雑誌『セーヴェル(Sever)』主宰

調査
報告

『ニコライ・ネフスキーとイソ夫妻に関する
新出資料について』

高野宏康 小樽商科大学グローバル戦略推進センター 学術研究員

司会

醍醐龍馬 小樽商科大学 一般教育系 准教授

言語学者・民俗学者として大きな業績をのこした、ニコライ・ネフスキーは、1919年に小樽高等商業学校(現・小樽商科大学)に赴任し、ロシア語を教えつつ、精力的にアイヌ語、沖縄・宮古島方言の研究を進めました。

小樽に滞在中は、積丹の漁家の娘、萬谷イソと恋愛し、後に結婚しており、ネフスキーにとって小樽での暮らしはかけがえのないものでした。

この講演会では、ネフスキーと小樽について、さまざまな資料に基づき、深く掘り下げてご紹介します。



平成30年11月22日(木) 18:00~19:30

会場：小樽商科大学附属図書館 (小樽市緑3-5-21)
2階閲覧室 教育情報発信・地域連携スペース

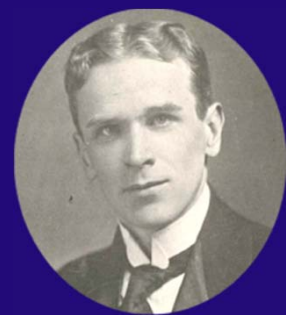
入場自由(無料) 学内外問わず、どなた様もご参加いただけます。

※自由に入場可能ですが、会場整理の都合上、なるべく事前申込みをお願いします。

お申込み先：小樽商科大学 学術情報課(図書館) 利用者支援係
電話：0134-27-6541, 5273 メール：lib-unyo@office.otaru-uc.ac.jp

講演

ネフスキーと小樽



★資料が語る、ニコライ・ネフスキー、イソ夫妻の小樽での足跡★